



平成28年 5月

本の中に出てくる食べ物が、
19日(木)の給食に登場します。

19日の献立

わかめうどん、ひじきとツナ
のあえも物、てんぷら(ちく
わ、さつまいも)、牛乳

紹介した本は
学校図書館で展示中。
借りられます!



うどん



『死神うどんカフェ1号店』 1杯目

石川宏千花/講談社/913-11-1

ある理由から、友達も作らずひとりきりで学校生活を送っていた希子。ある日、見慣れたはずの帰り道に突然あらわれた《死神うどんカフェ1号店》。気になって入ってみると、そこにはギャルソン姿の店長と店員たち、そして…。

死神界を捨てた元・死神が始めたこのお店、メニューが「かまたまうどん」と「カフェオレ」だけ、というなんとも変わったお店です。しかし、このうどんは美味しいと評判です。元・死神が作ったうどんなんて、少し怖いですが、美味しいなら食べてみたいですね。

この本はシリーズで1~6杯目(巻)まであります。ぜひ続きも「召し上がれ」。

*イラストは、著作権フリーサイト「素材のプチッ」のものを使用

てんぷら



童話『銀河鉄道の夜』や詩『雨ニモマケズ』などの作品で有名な宮沢賢治は、お給料が入るとおそば屋さんで、てんぷらそばにサイダーという組み合わせを好んで注文したそうです。

おそばの汁にサクサクのてんぷらを浸して食べる。のどをサイダーの炭酸でスカッと潤す。なかなかしない組み合わせですが、意外と合います。文豪と呼ばれる宮沢賢治も、私たちにも身近なメニューであるてんぷらそばを食べていた、と考えると親近感がわきますね。

参考資料:『てくてく歩き 31 東北』実業之日本社

*イラストは、著作権フリーサイト「GATAG」のものを使用

うどん豆知識



関東では「きつね」といえば、甘く煮た油揚げがのっているうどんやそばを言います。また「たぬき」といえば、天かすがかかっているうどんやそばを指しますね。しかし、関西では「きつね」は油揚げがのっているうどんを、「たぬき」は油揚げがのっているそばを指します。

関西では「きつねそば」「たぬきうどん」はほとんど存在しないそうです。

参考資料:『郷土料理』龍崎英子 監修/ポプラ社

*イラストは、著作権フリーサイト「GATAG」のものを使用